

株主通信 vol.33

# RYOWA REPORT

## 第68期 中間期 業績のご報告

平成28年4月1日～平成28年9月30日

- ① ごあいさつ・トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況

空気と水のテクノロジー



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第68期(平成28年4月1日から平成29年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和  
代表取締役社長

黒田 英彦  
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて環境にやさしい生活空間の創造を目指す。  
環境エンジニアリングを中核事業とし、ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。  
人材の育成・教育を重視し働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬  
意志疎通の徹底  
技術力の研鑽

トップインタビュー

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として個人消費の底堅さが見られ、緩やかな回復基調で推移したものの、新興国を中心とした海外景気の減速懸念や英国のEU離脱問題などのリスクを抱えるなか、円高進行に伴い、企業収益の改善に足踏みが見られることから、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、製造業における設備の維持・更新需要は底堅く推移しており、補正予算による公共投資の持ち直しも見られることから、堅調な受注環境が続いております。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は、受注高31,270百万円、売上高28,891百万円、営業利益1,918百万円、経常利益1,986百万円、中間純利益1,306百万円となりました。

当中間期は、受注につきましては、産業設備工事で前年同様に高水準の受注量を確保できたものの、一般ビル設備において、前年に比べ大型案件の受注が減少したことから、全体としては前年を下回る結果となりました。

収益につきましては、前年から繰り越した手持工事が順調に進捗したことから売上高は増加いたしました。利益につきましても、売上高の増加に加え、原価低減等により工事採算性が改善されたことから、前年に比べ増益となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受注高	31,270	34,221
売上高	28,891	26,952
営業利益	1,918	1,281
経常利益	1,986	1,370
中間純利益	1,306	865

Q 上半期の取り組みについて教えてください。

A 当期は、中期3か年事業計画の2年目にあたり、最終年度目標の達成に向けた重要な1年と位

置づけております。目標達成のために、当期に新たにスローガンとして掲げた「自分の1年間の足跡を残そう」という課題を全役職員が実践し、一人ひとりがより自発的に、より能動的に業務に取り組んだことにより、当中間期の業績を確保できたと考えております。

具体的な取り組みとしては、従来から得意とする設備改善工事の需要を確実に取り込むため、引き続きライフサイクル一貫ソリューションビジネスを推進するとともに、医薬関連分野を中心とした産業設備への提案型営業の強化を図ることで受注量の確保に努めてまいりました。

また、海外事業におきましては、インドネシア共和国に現地法人PT.TECHNO RYOWA ENGINEERINGを新たに設立し、昨年開設したマンマー事務所と共に、東南アジア地域での事業基盤の確立を推進してまいりました。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましては、新興国経済の減速や英国のEU離脱選択に起因する成長鈍化が懸念され、また、米国大統領選挙の結果が世界経済に与える影響は現在のところ不透明であり、今後も予断を許さない状況が続くことが予想されます。国内経済につきましては、設備投資と雇用・賃金の緩やかな増加基調が維持される見込みであることから、力強さを欠きながらも緩やかな回復軌道が見込まれます。

建設業界におきましては、今後も産業設備工事にお

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。

ける設備の維持・更新需要は底堅く推移すると想定されますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたインフラ整備の本格化に伴い、今後は徐々に人手不足によるコスト上昇圧力が増してくることが懸念されます。

当期の連結業績見通しにつきましては、手持工事が順調に進捗し工事粗利率も期初見込みと比べ改善傾向にあることから、10月28日に業績予想を上方修正し、利益につきましては、前期とほぼ同水準の業績を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
受注高	59,000	64,547
売上高	61,400	58,032
営業利益	3,330	3,440
経常利益	3,450	3,669
当期純利益	2,160	2,265

**Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。**

**A** 当社は、中長期経営ビジョンおよび中期3か年事業計画達成に向けた施策のなかでも、医薬関連を軸とする産業設備分野での受注獲得と収益確保を最重要課題として位置づけております。企業業績の回復が鈍化するなかでも、当分野における設備投資需要は底堅く推移すると予想されます。当社といたしましては、今後も専門技術の蓄積や関連商品の開発などに取り組み、当分野での優位性を保つことで、景気に左右されにくい安定した経営基盤の確保に努めてまいります。

当期末の配当金につきましては、1株につき9円とし、年間では前期より1円増配の1株につき18円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

## TOPICS インドネシア現地法人の設立について

本年4月にインドネシア共和国ジャカルタ市において現地パートナー企業との合併会社となるPT.TECHNO RYOWA ENGINEERINGを設立いたしました。当社グループ企業として当中間期より連結子会社化いたしました。現地法人の設立を通じて今後も海外事業の拡大を目指してまいります。

設立	2016年4月
所在地	インドネシア共和国ジャカルタ市
営業種目	空調衛生設備工事業
資本金	60億ルピア(当社出資比率：66.7%)

### 株式会社宮城ニコンプレジジョン大河原事業所



本物件は、同社の精機事業の新たな拠点として建設されました。3棟からなる建屋のうち生産工場である1、2号館は渡り廊下で結ばれ、広大なクリーンルーム施設が配置されています。当社は、確認申請から建築、電気、空調衛生設備および外構の各工事を施工し、竣工後の保守・メンテナンスを含めたライフサイクルソリューションを実践しております。

概要	
完成年月	2016年9月
施工地	宮城県柴田郡大河原町
建物用途	工場
延床面積	5,812.21㎡
物件形態	地上1階他
工事範囲	建築・電気・空調・衛生設備工事



### 池袋本町地区校舎併設型小中連携校



本物件は、ひとつの敷地に小学校と中学校を併設した、豊島区初の校舎併設型小中連携校です。「連携・交流の拠点」「防災の拠点」「緑の拠点」をコンセプトに、学びの場のみならず、地域の防災拠点としての役割も担います。空調設備は子供たちの生活環境に配慮しつつ、木々をふんだんに使用した教室に調和する設備を採用し、地域に親しまれる環境設備を備えた施設となっています。

概要	
完成年月	2016年6月
施工地	東京都豊島区
建物用途	学校
延床面積	17,271.41㎡
物件形態	地上4階他
工事範囲	空調設備工事



### 株式会社ファンケル総合研究所第二研究所



本物件は、同社のイノベーション研究所として位置づけられ、美と健康の両領域における基礎研究をはじめ、さまざまな分野での革新的な研究を行う開発拠点です。主に空冷パッケージエアコンを主体とした個別空調方式を採用し各研究室の温度・湿度管理を行っており、空冷モジュールチラーおよびエアハンドリングユニットで外気を処理し、各研究室の局所排気に対応、室内圧力を制御しております。

概要	
完成年月	2016年5月
施工地	神奈川県横浜市
建物用途	製薬研究所
延床面積	1,764.90㎡
物件形態	地下2階地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事



### 富士宮市立学校給食センター



本物件は、老朽化が進んだ学校給食センターの建替えに伴い、学校給食の提供をはじめ、食のまち富士宮にふさわしい「食育」と「食のまちづくり」を推進する施設として市民が交流できる食の拠点となるように建設されました。屋上機械置場には、各機器の日常点検を考慮して、メンテナンス歩廊を設置し、また光触媒装置を用いた厨房排気脱臭装置を組込むことにより、周辺環境にも配慮した設備設計となっております。

概要	
完成年月	2016年9月
施工地	静岡県富士宮市
建物用途	給食センター
延床面積	4,991.03㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調設備工事

「環境のトータルエンジニアリング」企業である  
私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

### 医薬関連技術

## 医薬品GMP・バリデーション

「中期3か年事業計画」の基本方針に示すとおり、当社は医薬品製造分野等の産業設備分野でのシェア拡大に注力しております。今回は医薬品製造工程のなかで、重要なキーワードとなる「医薬品GMP・バリデーション」についてご紹介いたします。

### Q 医薬品GMPとは？

Good Manufacturing Practiceの略称であり、医薬品製造における製造過程や要件を定めた「医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準」を指します。

### Q バリデーションとは？

バリデーションとは、「医薬品の製造過程において、設備や工程、製造方法が適切であることを保証し」、「常に均質の製品を製造できることを検証する」ことであり、GMPに準拠して製造設備設置後も定期的にその性能検証を行うことを指します。

## ■ 当社の役割

当社の事業分野では空調処理システム、製造用水供給システム等がバリデーション管理の対象となっています。当社は医薬品製造施設向けのクリーン環境の設計・施工・メンテナンスとともに、GMPおよびバリデーションに対応した関連技術の開発を進めることで、お客様へのトータルサポートを実現しております。

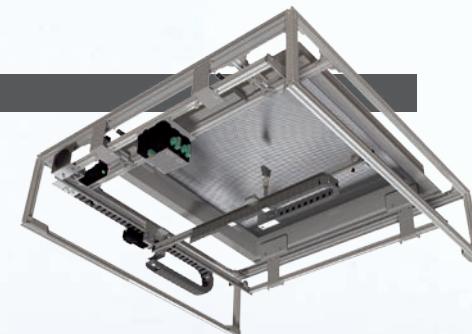
### 医薬品製造工場向け技術の開発

## 医薬品製造工場向け HEPAフィルター自動リーク検査・管理システム HALiSCANNER (ハリースキャナー)

HEPAリーク検査をより確実かつスピーディーに。  
フィルターの検査・交換履歴も含めた  
総合的なフィルター管理をサポートします！

医薬品製造工程におけるクリーン環境を保証するには、各所に設置された「HEPAフィルター」の定期的な性能検証と管理が不可欠です。当社はバリデーション作業におけるフィルターリーク検査の省力化と信頼性の確保に取り組み、従来開発品を大幅に刷新し、「HALiSCANNER (ハリースキャナー)」を開発しました。

- ◆ **高い信頼性と軽量・コンパクト化を両立**  
検査作業員一人でも設置できる軽量設計。さまざまな設置場所に対応できます。作業員の経験に頼った検査に比べ、より信頼性の高い結果を得ることができます。
- ◆ **総合的なフィルター管理**  
フィルターごとに登録したQRコードを利用し、検査・交換履歴などの情報を把握することで、トレーサビリティを含めた総合的なフィルター管理ができます。
- ◆ **作業の省力化とコスト削減**  
検査情報はリアルタイムで加工・管理されますので、ドキュメント制作作業が省力化できることから、バリデーションに係るトータル時間の短縮とコストの削減ができます。



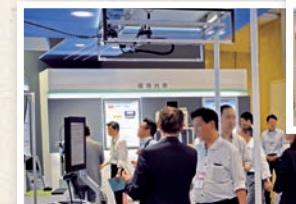
HALiSCANNER ハリースキャナー



HALiSCANNER操作の様子

## 第29回インターフェックスジャパンに出展しました。

本年6月、東京ビッグサイトで開催された、医薬・化学関連技術の大型展示会「第29回インターフェックスジャパン」に出展いたしました。当社は専用ブースにて「ハリースキャナー」を展示し、ご来場のお客様からご好評を頂きました。



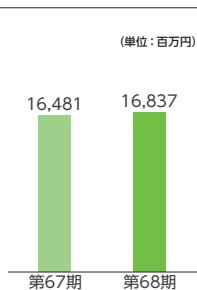
<b>受注高</b> <b>31,270</b> 百万円 < 前年同期比 8.6%減 >	<b>売上高</b> <b>28,891</b> 百万円 < 前年同期比 7.2%増 >	<b>経常利益</b> <b>1,986</b> 百万円 < 前年同期比 45.0%増 >	<b>中間純利益</b> <b>1,306</b> 百万円 < 前年同期比 51.1%増 >
--	--	---	--

受注高構成比

**産業設備工事**

**53.8%** 16,837百万円

当中間期は、緩やかな景気回復基調を背景に、製造業の設備更新需要が底堅く推移したことから、医薬品関連施設を中心に前年同期を上回る受注量を確保できました。今後も医薬関連分野を中心とした産業設備の受注シェアを更に伸ばすとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネス体制によりお客様との関係強化を推進してまいります。



**電気設備工事**

**4.0%** 1,258百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



**冷熱機器販売**

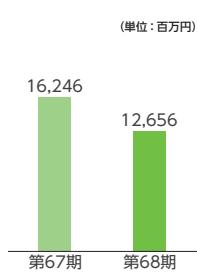
**1.7%** 518百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

**一般ビル設備工事**

**40.5%** 12,656百万円

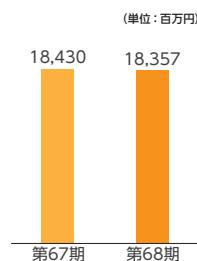
当中間期は、前年に大型案件の受注があった反動から、前年同期比では受注量は減少いたしました。今後は東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたインフラ整備や関連施設の新設・更新需要が本格化してくることから、積極的な受注活動を推進し受注の確保に努めてまいります。



**設備改善工事**

**58.7%** 18,357百万円

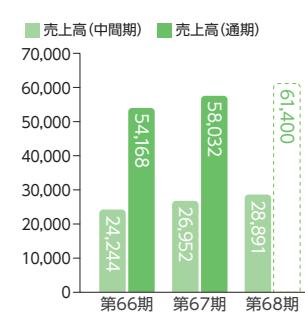
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



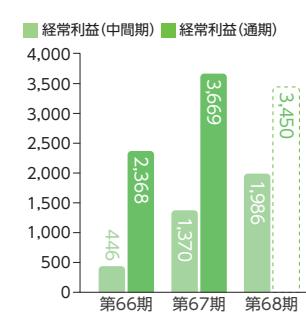
**受注高の推移**



**売上高の推移**



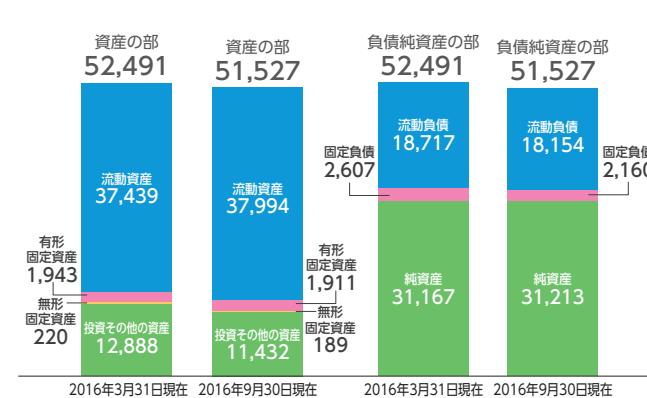
**経常利益の推移**



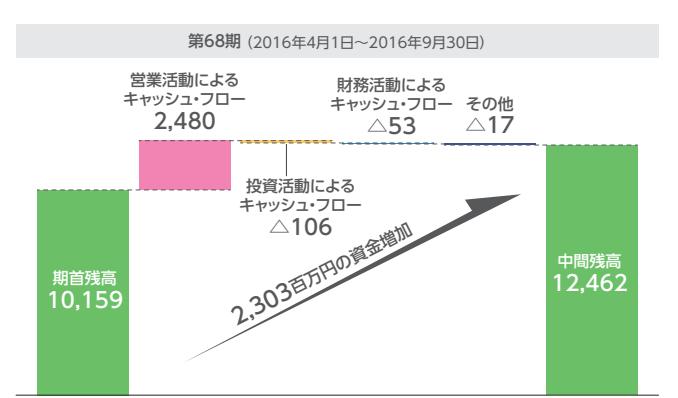
**当期純利益の推移**



**貸借対照表の概要**



**キャッシュ・フローのポイント**



**財務のポイント**

<p><b>資産の部</b></p> <p>固定資産における投資有価証券の減少16億円を主な変動要因として、資産合計は、前期末から9億円減少し、515億円となりました。</p>	<p><b>負債の部</b></p> <p>流動負債における支払手形・工事未払金等の減少7億円および固定負債における繰延税金負債の減少4億円を主な変動要因として、負債合計は、前期末から10億円減少し、203億円となりました。</p>	<p><b>純資産の部</b></p> <p>利益剰余金の増加11億円およびその他有価証券評価差額金の減少11億円を主な変動要因として、純資産合計は前期末から1億円増加し312億円となり、自己資本比率は1.1ポイント上昇し、60.5%となりました。</p>	<p><b>キャッシュ・フロー</b></p> <p>税金等調整前四半期純利益の計上20億円を主な変動要因として、現金及び現金同等物は、前期末から23億円増加し、124億円となりました。</p>
--	--	--	---

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要 (平成28年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和  
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)  
設立 昭和24年12月23日  
資本金 2,746,800,000円  
上場 東京証券取引所市場第二部  
従業員 671名 (連結783名)  
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号  
登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)  
東京本店(東京都豊島区)  
千葉支店(千葉県千葉市)  
茨城支店(茨城県土浦市)  
北関東支店(埼玉県さいたま市)  
東北支店(宮城県仙台市)  
横浜支店(神奈川県横浜市)  
名古屋支店(愛知県名古屋市)  
静岡支店(静岡県静岡市)  
大阪支店(大阪府大阪市)  
中国支店(岡山県倉敷市)  
九州支店(福岡県福岡市)  
海外事業部(東京都豊島区)

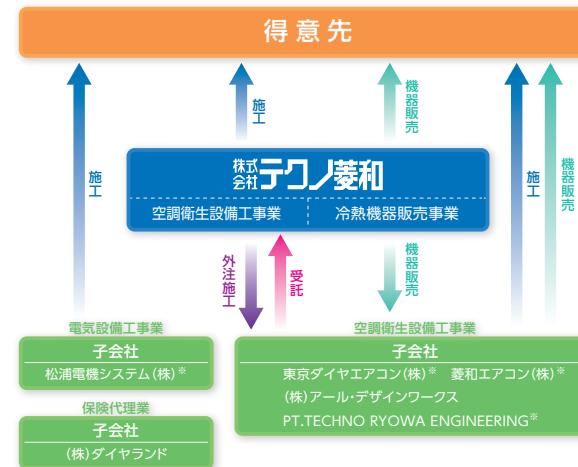
事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業  
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業  
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷暖機器販売事業  
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業  
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 太陽光発電事業  
太陽光発電による電力を売電する事業を行っております。
- 不動産賃貸事業  
菱和エアコン株式会社にて、不動産の賃貸業を行っております。
- 保険代理事業  
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社*	PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING*
所在地 東京都新宿区	所在地 インドネシア共和国ジャカルタ市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社*	株式会社アール・デザインワークス
所在地 愛知県名古屋	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
松浦電機システム株式会社*	株式会社ダイヤランド
所在地 大阪府守口市	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 電気設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業



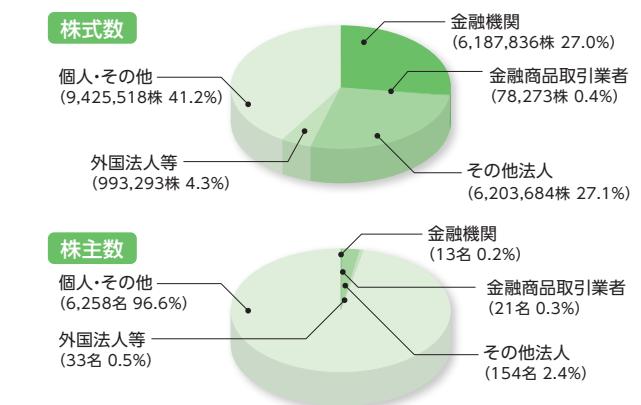
株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株  
当中間期末現在の株主総数 6,479名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,166	9.4
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
テクノ菱和従業員持株会	676	2.9
近重 次郎	672	2.9

株式の分布状況



役員 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	黒田 英彦	取締役	根岸 孝雄	取締役	福士 富三
常務取締役	飯田 亮輔	取締役	鈴木 孝	常勤監査役	岡田 秀司
常務取締役	知見 扶公	取締役	星野 宏一	監査役(社外)	林 健一郎
取締役(社外)	楠本 馨	取締役	黒田 長憲	監査役(社外)	小栗 章雄
取締役(社外)	腰塚 和男	取締役	窪 和敏		
取締役	松橋 秀明	取締役	加藤 雅也		

株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および  
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き  
お問い合わせ先

【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様  
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様  
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ  
を使用して印刷しています。

UD  
FONT

